

会 員 各 位

一般社団法人 日本船用工業会
専務理事 安藤 昇
(公印省略)

次世代海洋エンジニア会（若手技術者交流会事業）への参加募集について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2018年10月に当会技術開発戦略検討委員会でとりまとめた「今後の技術開発事業のあり方について」では、従来にない全く新しい発想に基づく技術開発につなげるためには、同業他社あるいは異業種・他分野の技術者との交流の場を設けることが必要であるとされております。

また、最近の自動運航船やGHG削減に向けた技術開発が今後のマーケットを大きく左右することを考えると、10年後を見据えて各社の将来を担う優秀な若手技術者の連携を深める取組みにより、将来的に新たなアイデアの発掘や、技術的な協力体制の構築等へ繋げていくことが求められています。

このため、技術開発戦略検討委員会及び同WGの検討を経て、2020年1月に「若手技術者交流会トライアル」を実施しました。更にその結果を踏まえて、2020年度以降、本事業を本格実施することが了承されました。しかしながら、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、昨年度は上記トライアル参加者等を対象に、オンラインでの半日間のフォローアップイベントを実施した次第です。

感染症の状況は未だ不透明ではありますが、ワクチン接種の拡大等の明るい材料も見られることから、WGでの検討を経て、今般、当面はオンラインを活用しながら、下記のとおり本事業を本格始動することとなりました。

については、本事業に参加ご希望の会員企業におかれては、来る7月30日(金)までに添付の申込書に必要事項をご記入の上、当会宛にお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

<実施計画>

- ・次世代海洋エンジニア会の実施計画（別添）

<申込書>

- ・次世代海洋エンジニア会 申込書（別添）

(問い合わせ先)

一般社団法人日本船用工業会 技術部 文屋 / 三田村
TEL : 03-3502-2041 FAX : 03-3591-2206
E-mail: mitamura@jsmea.or.jp

以上

次世代海洋エンジニア会（若手技術者交流会事業）の実施計画

1. 事業名

次世代海洋エンジニア会(NGMEA)Next generation marine engineer association

2. 目的

会員企業に対して、今後の船用工業を支える若手技術者職員の（i）技術者の能力向上、育成（ii）海事クラスター内の技術者の交流、ネットワーキング（iii）異分野の技術者との交流を通じた意識改革（iv）異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の機会の創出を提供し、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築くことを目指した交流会とする。

3. 対象者及び研修人員

（1）会員各社の将来を担う優秀な若手技術系社員（原則として、経験年数5年以上概ね35歳未満）*¹

（2）30名程度*²

（3）実施期間中は原則同じメンバー*³

*1. 本事業を本格始動するために新規に参加募集を行います。なお、令和元年度に実施した若手技術者交流会（トライアル）の参加者も歓迎します。

*2. 多数のご応募を頂いた場合、各社からの参加人数を調整させていただく場合があります。

*3. 本交流会は2年間のプログラムを通じてネットワーキングを行うことを目的としていることから、可能な限り同一参加者が全プログラムを通じて参加する様、お願いします。

4. 日程と場所

2021 から 2022 年度の 2 年間を実施期間とし、下記日程を通して交流会を行う。

	日 程	場 所
①第1回	2021年 8月31日～9月1日（2日間）	オンライン開催
②第2回	2022年 2月頃	大阪（予定）
③第3回	2022年 8月頃	ご協力頂ける船主、造船所の近辺（予定）
④第4回	2022年 12月頃	東京（予定）
⑤第5回	2023年 未定（1日）	東京（予定）

*期間中、参加者には上記日程以外に課題等に取り組んで頂く場合があることについて、ご理解をお願いします。

*②～④は、宿泊（1泊2日 or 2泊3日）を伴うプログラムを予定しています。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によってはオンラインツールを活用した運営も適宜検討します。

*③については、見学等を協力頂ける企業様（造船所や船社）によって決定します。

*上記日程は変更の可能性がございます。

5. 費用

30万円/人

*上記日程において、参加者に関わる交流会中の宿泊・食事・懇親会・研修に関わる費用並びに事業運営費を含んでおります。

*参加者の実施場所への交通費は含んでおりません。

*ご請求については、第1回と第3回のそれぞれの日程終了時、15万円ずつの計2回に分けて行います。

*なお、参加費お支払い後の返金要請はお受けしておりませんので、予めご了承ください。

6. 交流会の形式及び内容（予定）

内容は下表の通り（別紙スケジュールをご参照下さい。）。

	プログラム	内容
①第1回 (オンライン) 2021年 8月末 (2日間)	キックオフ	顔合わせ、自己紹介、アイスブレイク、交流会の目的及び意識合わせ
	講義 & グループディスカッション	(株)MTI 船舶物流技術部門長 安藤英幸氏に講師をお願いし、「欧州システムインテグレーター vs 日本の船用工業の現状について（仮）」を題材に講義頂き、欧州システムインテグレーターの実態を知り、技術者として国内船用工業が如何にイニシアチブを取っていくかを検討する。
	アイデアソン①	日船工で調査し、取り纏めたユーザーニーズをもとに、他社との協調領域を意識したアイデア出しを行う。
	オンライン懇親会	オンラインツールを利用し、WEB上で懇親会を実施
②第2回 (合宿) 2022年 2月頃	講義	異分野とのコラボレーションで成功している企業に講師を依頼し、異分野への技術利用や他社とコラボするにあたり大事にすべき考え方を学ぶ。
	アイデアソン②	異分野への船用技術の応用について検討し、船用工として取り組むべき協調領域を検討する。
	研修	デジタルに関わる研修を予定
	懇親会（BBQ）	参加者同士の交流を深める
③第3回 (合宿) 2022年 8月頃	講義	国内の船社、造船所に講師を依頼し、各社が抱える技術的課題や船用メーカーにもとめることについて、講義をお願いする。
	アイデアソン③	各チームにユーザーも参加し、各社が抱える技術課題に対し、船用工として取り組むべき協調領域を検討する。
	造船所見学&意見交換	造船所見学を実施し、造船工程への理解を深めるとともに、その工程内での技術的課題などについて、参加者及び造船所間で意見交換を行う。
	懇親会	参加者同士の交流を深める
④第4回 (合宿) 2022年 12月頃	アイデアソン（まとめ）	これまでのアイデアソン①～③で出たアイデアについてのブラッシュアップを行い、コンテストに向けた発表準備を行う。
	アクティビティ	親睦を深めるイベントを実施予定
	懇親会	参加者同士の交流を深める
⑤第5回 2023年内	成果物コンテスト（成果発表会）	当会の技術開発戦略検討委員会、WGの委員及びアドバイザーを審査員としてお招きし、コンテストを行う。

*実施内容については、今後変更の可能性があることをご承知おきます。

以上